

PBLタイプ①短期集中型(90分×4回程度)

ゼミなどで、ある程度学生同士の間関係が出来ているケースを想定。

短期間であるため、ミッションの具体性を高め、ビジョンも提示する。思考手順についても、ある程度「型」に沿わせる。

① 導入、協働組織紹介、ミッション伝達

- ・ 協働組織の社員が参加

1. 導入

- ・ なぜPBLを実施するのか、その意味を明確に伝える。
以降の流れについて説明する。

2. 協働組織紹介

- ・ その企業の理念、社会的価値を、熱量を持って伝える。

3. ミッション伝達、質疑応答

- ・ 実際に直面しているリアルな課題×ビジョン＝ミッション
- ・ 具体性→高くする
- ・ ビジョン→明確に伝える

4. 宿題の説明

- ・ ミッションに関する情報を調べ、仮説を考えて、人に説明できるように準備してくる。

② グループワーク1：ミッション分析

1. グループ作り

2. 企画書の雛型提示と説明

3. チームで宿題の共有

4. ミッションについてフレームワークに基づき分析を行う

5. 解決法のアイデア拡散

③ グループワーク2：解決法の立案

1. 解決法のアイデア収束

2. 簡易プレゼンテーション

- ・ 教員に向けて案を説明させ、論理整合性についてフィードバックを行う。

3. アイデアの精緻化

4. プレゼンテーションの説明（宿題の説明）

- ・ 次回はすぐにプレゼンテーションを始めることを伝え、準備してくるよう伝える。
- ・ プレゼンの形式、使えるツール、時間等の詳細を伝えておく。

④ プレゼンテーション、振り返り

- ・ 協働組織の社員が参加

1. チームごとにプレゼンを実施、フィードバック

- ・ 学生のすることという目線で下手にほめたりせず、社会人の仕事としてどうか、という目線でシビアにフィードバックする

2. 総評

3. 振り返り